

県会議員 奥村のり子の
しん 赤旗 読者ニュース



2013年4月7日 第78号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
電話&FAX 073-427-7121

成年後見人の選挙権を認めよ
国は法改正を急ぐべき

東京地裁が違憲判決

以前、地域の集まりのなかで後援会の方から障害のある娘さんに投票権がないというお話を聞いていました。ご夫婦でいつも演説会などに参加して下さっています。選挙のたびに「娘はきちっと意思表示できるのに成年後見人を付ける選挙権がないのが残念だ」と言われていました。

私もいつも悔しい思いで何とかしなければと思っています。今回、成年後見人の選挙権を認めないとしている公選法の規定について東京地裁判決は、憲法違反と断じました。

法律の規定そのものを違憲とする重い判断が出されたことはこれからの日本の社会のあり方にとっても意義のあることです。

最高裁によると被後見人は12年12月現在、全国で約13万6000人いらっしゃるということです。裁判は北海道、埼玉、京都でも続いています。国は控訴



「雑賀孫市で和歌山を元気に」と手作りの「第9回孫市まつり」。甲冑姿や平安衣装のなか、のり子も3時間ほどですがボランティアをさせて頂きました。

(3月31日 鷺森別院で)

お花見が終って次は苦い毒薬が...

満開の桜花が散ると値上げの春です。ガソリン、灯油の上昇に続き電気、ガスは2ヶ月連続値上げ、輸入小麦、食用油、ティッシュなども。原油高騰はハウス栽培に影響し、電気を使う野菜工場は閉鎖もあり野菜の値上がりは必至。小麦の値上げはうどん、食パンにも及ぶ。この元凶はアベノミクスによる円安だ。それでも安倍首相は株や不動産価格の上昇、円安で輸出大企業が収益増と富裕層の大喜びを見て、見せかけの「好況ぶり」を演出し、来年四月の消費税増税に自信を持ったのか、テレビに映る姿はすこぶる意気軒昂だ。

だが庶民は相次ぐ物価値上げの上に年金は今秋から三年かけ2・5%削減、生活保護の大幅削減を見せしめに、他の低所得者の賃下げや制度等の大改悪を狙う。そして消費税10%になれば月収1か月分が丸ごと消える。消費税増と社会保障解体こそアベノミクスの隠された毒薬だ。今でさえ年収200万円に満たない労働者が1千万人超えなのにさらに労働者派遣法や解雇規制緩和で低賃金や首切りの自由化もめざす。経団連や経済同友会は「負担増と給付減の『苦い薬』を飲まなければ」と公言。こんな薬を拒否するために7月の参院選がいよいよ重要である。(編集室)

のり子の雑言雑語

(主なもの)

- 4月 5日 街頭宣伝
- 6日 会議、憲法25条と生活保護制度学習会
- 7日 市駅前さくらジャズコンサート 河西後援会 ぐすみ後援会 お花見
- 8日 津波浸水想定地域視察
- 9日 田辺市議選応援
- 10日 県議団会議 党県社保部会
- 11日 無料生活相談 河西診つどい 団体訪問

ほろろと建替へ

先日、和歌浦のほうらい荘を利用していらっしゃる方から、施設の取り壊しが決まり困っている。何とか存続させる事はできないか、みんなで相談するのだが、顔を出さないかとお誘い頂きました。参加するにあたり、経過を調べると、1年12月議会で、修理計画についての姫田議員の質問に対して市は、建て替えも視野にいて検討を進めていると答えていました。

姫田さんは、後の計画が定まっていけないのに、取り壊しだけ決めてしまう事に問題意識をもっていったようです。そして、今年の代表質問で

党市・青年部長
中村朝人



住民が相談会、願いかなえる建て替えの実現を

が、取り壊しの方針だけが示されませんでした。しかし、その後の委員会の方針を転換し、建て替えの方向が示されています。相談会当日は、姫田市議も参加し経過報告やこれからの取り組みなど交流しました。市は、9月までには方針を固めるといふ事です。出来るだけ早い時期にどういった機能を備えた施設が必要なのか市に訴えることや、建て替えの間は別の施設をほうらい荘と同じ条件で使用できるようにならないか、などの意見がだされてきました。嘆願書も出して取り組んでいて、やっぱり同じような施設を建てて欲しいと言った声がありました。



Relay talk
姫田議員は建て替えについて質問しました